【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和4年5月30日(2022.5.30)

【公開番号】特開2022-64570(P2022-64570A)
【公開日】令和4年4月26日(2022.4.26)
【年通号数】公開公報(特許)2022-075
【出願番号】特願2020-173278(P2020-173278)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｋ 85/18(2006.01)
Ａ０１Ｋ 85/16(2006.01)
Ａ０１Ｋ 85/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｋ 85/18
Ａ０１Ｋ 85/16
Ａ０１Ｋ 85/00 Ｇ

【手続補正書】
【提出日】令和4年5月19日(2022.5.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の分割体により魚体を模した本体を構成するジョイントルアーであって、
隣り合う前記分割体を揺動可能に連結する連結部材と、
前記連結される分割体の間に跨って配置される芯材と、
を有することを特徴とするジョイントルアー。
【請求項２】
請求項１に記載のジョイントルアーにおいて、
前記芯材は、一端側が、前記連結される一方の分割体の対向面に装着され、他端側が、前記連結される他方の分割体の対向面に装着されることを特徴とするジョイントルアー。
【請求項３】
請求項２に記載のジョイントルアーにおいて、
前記分割体の対向面の、前記芯材が装着される部分に孔部を設け、前記孔部に前記芯材を収容して装着することを特徴とするジョイントルアー。
【請求項４】
請求項３に記載のジョイントルアーにおいて、
前記孔部内に、スリーブを装着することを特徴とするジョイントルアー。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか一項に記載のジョイントルアーにおいて、
前記芯材は、複数本の耐食性ワイヤーを束ねたワイヤーロープであることを特徴とするジョイントルアー。
【請求項６】
請求項１～４のいずれか一項に記載のジョイントルアーにおいて、
前記連結部材は、前記連結される一方の分割体に固定される軸体と、前記連結される他方の分割体に装着される軸受体とを備え、
前記軸受体は、前記軸体が挿通される軸受部を有し、

前記軸体は、前記軸受部に挿通した状態で前記分割体に装着されること
を特徴とするジョイントルアー。
【請求項７】
請求項１～４のいずれか一項に記載のジョイントルアーにおいて、
前記連結部材は、前記連結される一方の分割体に固定される軸体と、前記連結される他方の分割体に装着される軸受体とを備え、
前記軸受体は、前記軸体が挿通される軸受部を有し、
前記一方の分割体の対向面には、前記軸受部を収容する収容部を設け、
前記軸体は、前記収容部内において前記軸受部に挿通した状態で前記分割体に装着されること
を特徴とするジョイントルアー。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本願は、複数の分割体により魚体を模した本体を構成するジョイントルアーに係る多様な解決手段を示す。一形態としては、隣り合う分割体を揺動可能に連結する連結部材と、連結される分割体の間に跨って配置される芯材と、を有することを特徴とするジョイントルアーを開示する。